

船舶事故等調査報告書

平成21年1月8日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008函第8号	
事故等名	貨物船硯海丸 ^{けんかいまる} 陸上車両損傷	
発生年月日時刻	平成20年7月31日05時25分ころ	
発生場所	北海道紋別港第2ふ頭東岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月20日 函館・地方事故調査官が海難報告書を精査、21日 船舶所有者から甲板手の係船作業熟練度等についての照会に対する回答書 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実 船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等	貨物船硯海丸 4,906トン 130220 第一船舶株式会社	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	甲板手 免状なし	
負傷者	なし	
損傷	車両の運転席側窓ガラス全壊、運転席側ドアパネル凹損	
事故等の経過	硯海丸は普通セメント3,421トン、高炉セメント1,518トンを積載して紋別港に入港し、平成20年7月31日05時25分ころ、同港第1ふ頭東岸壁に着岸作業中、係船索を取るため甲板手がヒービングラインを投じたところ、同岸壁に停車中の車両に当たり、同車両が損傷した。なお、視界良好で軽風、車両は停止中であった。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 なし 乗組員等の関与 あり 船体・機関等の関与 なし 判明した事項の解析 甲板手は同種作業について約1年10箇月の経験有	
原因	本件陸上車両損傷は、甲板手が岸壁の確認を十分行わないまま、ヒービングラインを投じた可能性があると考えられる。	